

国際カンファレンス

風景のアヴァンギャルド

風景のポストモダン

Avantgarde and Postmodern in Landscape

主催 ■ 立命館大学国際言語文化研究所「21世紀の風景論研究会」

日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(B)(課題番号: 22320031)「『認識』と『構築』の自然の風景像—21世紀の風景論」

立命館大学衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム

2013年10月19日(土)10:00-18:00

参加費・事前申込不要

9:30 受付

【Part 1】10:00-12:30

要 真理子 (大阪大学) 「イギリスモダニズムに見る都市の風景」

林 道郎 (上智大学) 「『風景』の臨界点—シミュラクル・環境・非風景—」

仲間 裕子 (立命館大学) 「風景の結晶化、風景の標本化」

【Part 2】13:30-17:00 (翻訳資料あり)

吉岡 洋 (京都大学) 「液状化する時空間—ポストモダン風景論—」

辻 成史 (大阪大学) 「風景 そのTextureとPortrayal」

ポール・エドワーズ (イースト・アングリア大学) 「ウィンダム・ルイスと自然」

ジョス・デ・ムル (エラスムス大学) 「NextNature. アナログな崇高とデジタルな風景」

【Part 3】17:00-18:00 (通訳あり)

パネル・ディスカッション 司会: 前田 茂 (京都精華大学)



科研費
KAKENHI